

<彫刻の部>

(市指定文化財を重要文化財に)

もくぞうてんじんざぞう
木造天神坐像

1 軀

ぞうない ほうぞうりゆうよきだいみようじんみしようたい しょうげんがねんごがつとう めい
像内に奉造立与喜大明神御正躰、正元元年五月等の銘がある
ぞうない じゆうちめんかんのんきようぞう おさ
像内に十一面観音鏡像を納める

【大きさ】 像高 96.8 cm

【所有者】 宗教法人與喜天満神社 (桜井市初瀬 1)

奈良国立博物館寄託

本像は、厳しい忿怒の形相を示す天神像で、像内に正元元年（1259年）、与喜大明神等の銘があり、頭部には天神の本地である十一面観音を線刻した鏡を籠める。

天神彫像の最古作例であり、鎌倉時代の神像彫刻の代表的な遺品の1つとして貴重である。

(鎌倉時代)

